



石巻広域クラブ通信

<No.71>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3, Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2022年7月号

E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: koichi1839@outlook.jp

== 2021-2022年度 主題 ==

クラブ会長 青木満里恵「感謝を胸に、連携し、活動を広げよう！」
北東部部長 大久保知宏(宇都宮)「クラブのミッションを育てよう」
東日本区理事「未来に向けて今すぐ行動しよう」
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン(台湾)「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
国際会長 K・C・サミュエル(インド)「フェロシッパとインパクトで次の100年へ」

<今月の聖句>

「初めに言があった。言は神と共にあった」<ヨハネによる福音書 1:1>

<強調月間> キックオフ/Change! 2022!/PR

7月第一例会(総会)プログラム

日時 7月22日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

当番 石川光晴・清水弘一

- | | | |
|---------------------------|-----|-------|
| | 司会 | 清水 弘一 |
| 1. 開会点鐘 | 会長 | 青木満里恵 |
| 2. ワイズソング | | 一同 |
| 3. ゲスト・ビジター紹介 | | 書記 |
| 4. 新旧会長引継ぎ式 | 副会長 | 石川 光晴 |
| 5. 新会長あいさつ | | 青木満里恵 |
| 6. 聖句朗読・食前感謝 | | 関川祐一郎 |
| 7. 日野直前会長感謝の食卓 | | 一同 |
| 8. 2022-2023年度年次総会 | | 議長 |
| ①2021-2022年度収支決算報告と監査報告の件 | | |
| ②2022-2023年度会長方針と事業計画の件 | | |
| ③ 〃 年間計画について | | |
| ④2022-2023年度収支予算案について | | |
| 9. 諸報告とアピール | | 各担当 |
| 10. ハッピーバースデー | | |
| 今月は該当者なし | | |
| 11. ニコニコ | | 会計 |
| 12. 閉会あいさつと点鐘 | 会長 | 青木満里恵 |
| 13. 石巻平和七夕飾り準備作業 | | 一同 |

感謝を胸に、連携し、活動を広げよう!

第7代会長 青木 満里恵



東日本大震災からのインフラ面での復興は11年を過ぎてほぼ終わり、巻広域ワイズメンズクラブは、全国への発信を含め、クラブの活動も軌道に乗りつつあるように思います。しかし、被災された人達の心の復興はいまだ道半ばと言われる昨今の現状を鑑みれば、クラブ内外との連携、絆を更に深めて活動を広げるべき時と考えます。具体的には、昨年、兄弟クラブを結んだ神戸ポートクラブ、東京むかでクラブとの関係も石巻から人的交流も含め、更に関係を深めるような活動ができたかと考えています。そして、ワイズメンズクラブ国際協会設立100周年記念式典が、今秋、台湾・台北で東西日本区交流会が明年2月に開催されます。是非、石巻広域ワイズの多くのメンバーと一緒に参加できたらと思います。具体的に共に活動することで、連携、絆は自然に深まっていくものと考えます。石巻広域ワイズが立ち上がったばかりの時、東日本区大会が長野市であり、善光寺さんに、共に行った思い出や富士山の御来光を拝んだ思い出はいい経験として心の中に残っています。<次頁へ>

6月データ/7月内容(新会長巻頭言、3.11子ども文庫、ランドセルProj等)

例会出席	31名	在籍会員数	22名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	10名	月間出席者	10名	スマイル	13,228円	111,231円
ビジター	4名	メーキャップ	2名	ファン	0円	89,002円
ゲスト	17名	月間出席率	55%	BF	0円	0円

会長	青木 満里恵
副会長	石川 光晴
〃	姉齒 一紀
書記	清水 弘一
会計	櫻井 美智江
直前会長	日野 峻
担当主事	斎藤 勉

●本例会: 毎月 第4金曜日(18:30~20:30) ●第2例会(役員会) 第2金曜日

<前頁よりつづく> また、来年6月の第26回東日本
区大会は山梨県甲府市で行われます。コロナ禍で、中止
が相次いだこの数年を取り戻すためにも、今年度は皆さん
で、ぜひ、全国、世界を目指して活動できたらと思う
次第です。どうぞ皆様、元気で楽しい活動が共にできま
すようお願いしておりますので、ご協力、ご指導・ご鞭撻を
賜りますよう、心からお願い申し上げます。

副題：新しい仲間を増やし、共にワイズとYMCAのスピリッツを高めよう。

6月例会報告

日時 2022年6月24日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

出席者 青木満里恵、石川光晴、石田信正、大林健太郎
川上直哉、櫻井美智江、斎藤勉、清水弘一、千葉
直美、日野峻(10名) 3.11 こども文庫：長沼
利枝、小松代明見、郷内宣子、鈴木貞子(4名)
ゲスト：小野和子、佐藤清吾、鐸木道剛、金原道
子、門脇千恵子、石井多都子、蜂谷進、押切環喜、
石山芽生、川谷清一、石沢まき子、安住泰子、我
妻久美子(13名) ビジター：城井廣邦、櫻井浩
行、櫻井啓子(東京むかで)、大野勉(神戸ポー
ト) ZOOM, 4名 <計 31名> MC:阿部かよ子、
平井順子

- | | |
|---|-----|
| 1. 開会点鐘 | 会 長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. ゲスト・ビジター紹介 | 書 記 |
| 4. 会長あいさつ | 日 野 |
| 5. 聖句朗読・食前感謝 | 川 上 |
| 6. 食事・懇談 | 一 同 |
| 7. 諸報告とアピール | 各担当 |
| 8. 童話著書紹介 朗読：佐藤清吾さん・長沼利枝さん
「オシンコウ二皿ください」 | |
| 9. ゲストスピーチ
児童文学者 宮城民話の会 小野和子 様
テーマ：「民話を求めて」 | |

<小野和子さんプロフィール>

1934年(昭和9年)岐阜県高山市生まれ。東京
女子大学日本文学科卒業、1958年から宮城県仙
台市に住み、宮城県内で民話を採集記録、再話
する。1975年、「宮城民話の会」を設立。ほか
児童文学の翻訳多数。

- | | |
|---------------------------------------|------------|
| 10. お礼のあいさつ | 会 長 |
| 11. ハッピーバースデー
6月9日：関川祐一郎さん・阿部安子さん。 | 会 長 |
| 12. ニコニコ 13,288円 | 会 計 櫻井美智江 |
| 13. 閉会あいさつと点鐘 | 次期会長 青木満里恵 |
| 14. 記念撮影 | |

<6月例会報告>

2022年6月24日(金)午後6時半から、例会が行
われました。この日はNHK等にその活動が紹介さ
れた小野和子さんがゲストスピーチ、ということで、
オンラインを含めて30名ほどの方がご参加くださ
いました。会場は礼拝堂を用い、仙台からも多くの
方がお越しになり、印象深い会となりました。

小野さんをお迎えしまし
たのは「3.11 子ども文庫」
からの発案でした。文庫の
発起人のお一人である小松
代明美さんが、NHKで放
映された小野さんのお話に
感激され「是非」と提案く
ださったのでした。生涯を
かけて民話の「採訪」(採取ではなく!)をなさった
のが、小野さんでした。その佇まいに直接触れたい、
という強い願いが、今回の例会となったのでした。



小野さんのスピーチは、30分と短いものでした。
ただ、その前後に、たっぷりとお時間を頂き、懇談
の時を持たせていただきました。十三浜の佐藤清吾
さんも参加され、「3.11 子ども文庫」実行委員長の
長沼さんと一緒に、小野さんのご著書の朗読を、宮
城県の古い言葉で、していただきました。スピーチ
の中で小野さんは、旧宮守村が現在の遠野市に合併
される過程で奇跡的に残された、「東北の痛み」を伝
える不思議な民話をご紹介くださいました。聞いた
私たちは、東北の美しい言葉の響きに心動かされ、
深い感動を覚えたことでした。(川上副書記)



↑左：小野和子さん、右：日野会長より誕生日祝



例会会場と司会者



小野和子さんを囲んで記念撮影

7月拡大役員会報告

日 時 2022年7月8日(金) 18:30~20:30
 場 所 YMCA 石巻センター
 出席者 日野 峻、青木満里恵、川上直哉、櫻井美智江
 清水弘一

1. 開会点鐘 日野会長
2. ワイズソング 一同
3. 会長あいさつ 日野会長
4. 軽食
5. 報告事項

(1) YMCA ストレッチヨガの開催について

日 時 2022年6月15日(水) 10時~11時30分
 場 所 石巻市宮新蛇田集会所
 参加者 一般参加者13名(平井、青木含む)、金森、
 清水、川上 計16名
 次回開催 2022年8月31日(水)

(2) 2022年6月第一例会の開催報告

日 時 2022年6月24日(金) 18:30~20:00
 場 所 石巻栄光教会礼拝堂
 内 容 6月例会報告の通り(2頁参照)

(3) 2022年度仙台YMCA 会員大会報告

日 時 2022年6月25日(土) 14:00~15:30
 場 所 仙台YMCA 立町会館201
 内 容 第1部:開会礼拝 第2部:会員総会
 第3部:会員研修(ウクライナ避難民支援報告会)
 参加者 清水

(4) 3.11 子ども文庫の会(通算15回)

日 時 2022年7月2日(土)
 場 所 石巻センター
 参加者 くじらのしっぽ17名、阿部ファミリー3名
 長沼、斎藤み、小松代、郷内、鈴木貞、青木、
 日野、油屋(仙台平和七夕)計28名
 内 容 ①希望の牧場 ②七夕飾り ③リトミック
 ④まっくろけのうし

その他 8月は暑さ対策のため休会とする

(5) 2021~2022 東日本区表彰の報告

①理事表彰(ブリテン最優秀賞) ②EMC-MC(新入
 会員獲得)努力賞 ③CS 献金達成賞 ④PWALP 献金
 努力賞 ⑤2019 - 2020ALF REYNOLDS BF
 ACHIEVEMENTAWARD

6. 協議事項 進行 青木会長

(1) 2022年7月第一例会(総会)の開催について

日 時 2022年7月22日(金) 18:30~20:30
 場 所 石巻センター
 内 容 2022-2023 年次総会次第

- ① 2021-2022 年度収支決算報告監査報告
- ② 2022-2023 年度会長方針・年間計画
- ③ 2022-2023 年度収支予算について

④ 石巻平和を祈る七夕 2022 の展示と事前準備について

展示期間 2022年8月1日(月)~8月10日(水)
 展示場所 ①イトーヨーカドー石巻あけぼの店
 ②YMCA 石巻センター③ホエールタウンお
 しか Cottu(こっつ)
 準備会 ①2022年7月8日(金) 9時半~
 ②7月15日(金) 9時半~、③7/21、④7/24、
 ⑤7/26、⑥7/27、⑦7/28

(3) ペルーBF 代表ホスト引き受けについて

BF 代表名 ROXANA (ロザナ) 夫妻(南米ペルー)
 来日スケジュール 10月30日(日) 早朝成田到着
 東日本区滞在:10月30日(日)~11月5日(土)
 (石巻には11月3日頃を予定)~西日本区へ移動

(4) 思い出のランドセルプロジェクト実行委員会

日 時 2022年7月14日(木) 19時30分~
 場 所 ZOOM
 出席者 日野、川上、清水

(5) リトミック石丸教室、テレビドラマで紹介

日 時 2022年7月14日(木) 22時~チャンネル
 フジテレビドラマ「経営ディソナンス」

(6) 東京むかでクラブ野尻ファミリーキャンプ参加申
 し込みについて

日 時 2022年8月16日(火)14時~8月18日(木)
 10時
 場 所 東京YMCA 野尻キャンプ場(長野県信濃町)
 申込期限 7月20日(水)

(7) 北東部第1回評議会開催について

日 時 2022年7月23日(土) 13時~16時
 場 所 ハイブリット方式
 出席義務者 青木会長、石川副会長、姉齒副会長、
 櫻井会計、清水書記

(8) 7月号クラブ通信原稿依頼について

(9) その他

- ・東京YMCA こども食堂用缶詰の手配について
- ・日野直前会長ご苦労さん会について

7. 閉会あいさつと点鐘 青木会長

■ 今後のクラブスケジュール(7~9月)

平和七夕準備作業	7月21日(木)	石巻センター
クラブ2022-2023 総会	7月22日(金)	〃
北東部評議会	7月23日(土)	ZOOM
平和七夕準備作業	7月24日(金)	石巻セン 13:30~
〃	7月28日(木)	〃
〃	8月1日(月)	ヨーカドー 16時~
8月拡大役員会	8月12日(金)	石巻センター
8月第一例会	8月26日(金)	石巻センター
ストレッチヨガ教室	8月31日(水)	新蛇田集会所
9月拡大役員会	9月9日(金)	石巻センター
9月第一例会	9月22日(金)	〃

3.11 メモリアルプロジェクト

3.11 こども文庫 (第 15 回)

3.11 こども文庫実行委員会

通算 15 回目を迎えた「3.11 こども文庫の会」は東北南部地方梅雨明け宣言後 2 日目の暑さの中で行われました。石巻平和七夕 2 年目の折鶴作業のお手伝いも兼ねて鮎川のくじらのしっぽ (阿部かよ子施設長) さんから 17 名、そしてお子さん 2 人とともに阿部ファミリーの参加があり、内容の濃い賑やかなこども文庫の会となりました。いつもの通り東京のお友だちもとは石丸リトミック教室とオンラインで繋がりました。石丸先生は、今回は大人の参加者のためにテニスボールを使った音楽にあわせてのリトミック体操と画用紙への絵描きを楽しみました。合わせて両会場では笹竹と色紙を用意し、七夕飾りを創り、願い事を短冊にして飾りました。今回の絵本の読み聞かせは青木満里恵ワイズによる紙芝居「まっくろけのうし」と震災絵本「希望の牧場」を実行委員全員で行いました。お昼は長沼委員長が手配していただいた味覚さんのおにぎりと川上メン・メネットが調理された味噌汁をいただき感謝でした。



写真上：参加者一同、下左：折鶴作業、下右：青木さんの紙芝居



リトミックのピアノに合わせて絵描き

2021-2022 年度東日本区表彰一覧

- ① ブリテン最優秀賞 (理事表彰)
- ② CS 献金達成賞 (事業表彰)
- ③ 新入会員獲得努力賞 (2 名)
- ④ ユース活動支援献金達成賞
- ⑤ PWALP 献金協力賞
- ⑥ ALF REYNOLDS BF ACHIEVEMENT AWARD 2019-2020



「思い出のランドセルギフト」プロジェクト報告

ワイズメンズクラブ全体は、他の同様の団体と同じく、高齢化と会員現象に悩まされています。時代の変化の中で、「再活性化」の方策が求められており、「掛け声」と「目標」が重ねられるのですが「実績」が生まれません。その悩みへの応答として、「思い出のランドセルギフト」プロジェクトが始められました。以下、その経緯をまとめてみます。

1.

発案者は東京むかでクラブの城井さんと、東京世田谷クラブの朝倉さんでした。「具体的な“何か”を始めて、有志でそれを進め、全体に広げて活力を生み出す」ことの必要を、お二人は確認され、模索を始めました。ワイズメンズクラブの活性化のためには、クラブの中に閉じこもってはいけい。クラブの外で、クラブと繋がっている団体と協働することが重要だ——そのように発想の転換があり、クラブとのつながりの中で「ジョイセフ」という団体との協働が組み立てられ始めました。

「ジョイセフ」という団体は、女性の人権保護を通じて「自分の生活・家族の幸せ・母子の健康を守ること」を目指して戦後すぐに設立された団体でした。今はその活動を世界の人道支援活動へと展開しています。この団体が 21 世紀になってから開始したのが「ランドセルギフト」の活動でした。それは「日本で役目を終えたランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てる国際支援活動」でした。

(↓写真左はアフガニスタンでの子ども達への寄贈、右は子どもたちの野外での授業風景)



ワイズメンズクラブのネットワークは、今もなお広範に広がっています。そのネットワークの力を活かし、この「ランドセルギフト」を支援することで、クラブの活性化を産み出すことができるのではないか。城井さんと朝倉さんの活動は、すぐに一つの応答を獲得しまし

た。アメリカの「セブン-イレブン inc」様が 1 万ドルの寄付金を私たちに預けてくださいました。「ランドセル一個」を日本からアフガニスタンに送付する毎に「1800 円」の経費が掛かります。この経費をワイズメンズクラブ側で負担し、ランドセルを贈る呼びかけをすることが、「セブン-イレブン inc」様のご寄付によって可能になったのでした。

2.

ちょうどその頃、アフガニスタンで大きな政変が起こっていました。米軍が急遽撤退し、タリバン政権が復活したのでした。21 世紀になってすぐ、かつてのタリバン政権下で封殺されていた女子教育が解禁されました。その流れを強力に後押ししつつ展開してこられたのが「ジョイセフ」様の「ランドセルギフト」の活動でした。その 20 年ほどの活動が、また中断するのではないかと。そうした危機感の中で、城井さん・朝倉さんを中心にワイズメンズクラブの有志が「ランドセルギフト」のプロジェクトを開始しました。困難の中で新タリバン政権と交渉を続ける「ジョイセフ」の皆さんを応援することができればと、私たちも可能な努力を続けました。幸い、新しいタリバン政権は「ジョイセフ」の活動継続を許可し、ランドセルはアフガニスタンの子どもたちに問題なく届けられることになりました。

また、ワイズメンズクラブ有志の努力により、100 個を超えるランドセルの寄贈を受けることができました。城井さん・朝倉さんを中心に集まったワイズメンズクラブ有志は、組織と活動イメージを模索して会議を続けました。「アフガニスタンの子どもたちにランドセルを届ける」ことを第一に達成しつつ、それが「ワイズメンズクラブの活性化」につながる循環を作らなければなりません。会議は次第に成果を上げ、「東京むかでクラブ」と「神戸ポートクラブ」と「石巻広域クラブ」のトライアングル DBC を主催者とし、NPO 法人「東北ヘルプ」との協働を得て事務局を立ち上げ、「ワイズメンズクラブ国際協会東西日本区内に『思い出のランドセルギフト』実行委員会」を組織して規約を策定することができたのでした。

3.

組織や活動イメージが固まってきたころ、石巻広域クラブに、一つの連絡が入りました。「被災地に贈られたランドセルが、行き場を失って滞留している」ということで、そうしたランドセルは 130 余個もありました。<次頁へ>



<前頁より> その中には被災地へ贈られた手書きの手紙なども入っていました。その思いを大切に活かすために、石巻広域クラブのメンバーが一つひとつ検品し、清掃し、箱に詰め直しました。さらにその後、同じような経緯で「1800個」のランドセルが保管されており処分されてしまうかもしれないという連絡を受け、一気にランドセルの寄贈数が増えたことでした。

「1800個余」のランドセルについては、仙台青葉城ワイズメンズクラブのつながりの中で、「東北モンゴル友好協会」様と「海外在住ネパール人協会日本支部（仙台）」様にも連絡をつなぎ、ライオンズクラブの国際ネットワークも活用して、その一部を各地にご送付いただく手配を進めました。そして今、この「被災地のランドセル」をはじめ山形・東京・奈良から「1289個」のランドセルを、「ワイズメンズクラブ『思い出のランドセルギフト』実行委員会」から、「ジョイセフ」様経由でアフガニスタンに、送られることになりました。すでにその大多数は、「ジョイセフ」様が管理されている横浜港の倉庫へと搬入されました。

以上、2022年6月15日時点までの経緯をまとめました。今、とりわけ上記「3」によって、この「思い出のランドセルギフト」プロジェクトには、二つの意味が増し加えられたことになったと思われまます。その二つの意味について、最後に申し添えて報告を終わりたいと思います。

一つは「被災地支援」です。被災地への支援物資の「滞留」は、実は、2012年頃から、東日本大震災被災地では大きな問題となっていました。「残った支援物資の処分」を、支援者の心を大切にしながら、どうやって進めればよいか。それは大きな課題で、しばしば「手つかず」となっていたのです。その手つかずの大きな問題への一つの解答を、「思い出のランドセルギフト」プロジェクトは示すことができました。被災地の立場から、それは本当にありがたいことでした。

もう一つは「他団体との協働」です。今回、「被災地のランドセル」を保管してくださっていたのは、「ライフワークサポート響」という団体と、そして「石巻桃生ライオンズクラブ」様でした。いずれも東日本大震災の際には大きな働きをされた団体です。同じ被災地でそれぞれの活動をしていた私たちが、「思い出のランドセルギフト」プロジェクトを通して、協働をする機会を得ました。これは大きなことだったと思います。あるいは、「ワイズメンズクラブの活性化」のためのヒントも、ここにあるような気がしました。(了)



左より①と②は石巻桃生ライオンズクラブとの協働作業、③横浜港倉庫へ運搬・入庫 ④ワイズ梱包シール



担当主事 齋藤 勉

- ① 7月22日から夏季プログラムがスタートし、この夏も多くの子どもたちがYMCAに集います。
- ② YMCA 特別プログラム開催に向けて、バザー、ゴルフ、ランの委員会が動きはじめました。石巻ワイズの委員が決まりましたら、各担当より委員会開催のご案内をさせていただきます。
- ③ 仙台青年6月号にキャンプに関わる記事が掲載されています。ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。QRコードを携帯で読み取っていただければご覧になれます。
(黒田敦)



仙台青年6月号 仙台青年
6月号 6月号 6月号
6月号 6月号 6月号

東日本区では『動画で分かるワイズメンズクラブ』のQRコードを作成しました。ご友人などお知り合いの方にぜひご活用下さい。カードの追加は清水書記迄お申し出ください。



2022-2023年度 東日本区理事方針

〈東日本区 理事〉

佐藤 重良 (甲府21)



「未来に向けて 今すぐ行動しよう」

誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！

今年はいズメンズクラブ国際協会設立100周年となります。先人が築いて来たこの素晴らしい歴史から学び、今年は新たな出発点に立ちます。しかし現状はコロナ禍の中、ウクライナの戦争等今まで経験したことのない、世界が非常に困難な状況にあります。いズメンズクラブの活動もここ2年の間、活動を縮小せざるを得ない状況が続いております。今後ニューノーマル（新しい日常）が起きて行くものと想像されます。その中で、私達は多くの課題を抱えています。この難局を何としても乗り越えなければなりません。

第1に奉仕活動の活性化です。

魅力ある活動をしていれば自然と会員の入会が増加すると思います。世間から見ても、いズメンズクラブの認知度はかなり低いです。法人化のメリットを最大限に活用した、地域社会に密着したCS活動（例えばベビーカーコンサート・子供食堂等）を活発にすることが必要です。コロナ禍で、なかなか活動ができない状況がありますが、万全の創意工夫をして実施していくべきと考えます。私たちの活動を世間の人達に分かって頂く活動しましょう。

第2に最大の課題は、会員の減少です。

満足の出来る奉仕活動をするためには、ある程度のクラブ会員数（1クラブ15名以上）が必要です。100年続いてきたこの素晴らしいいズメンズクラブをさらに発展させ、世の中の「誰かのために奉仕して」少しでも住みよい世の中になります様、みんなで力を合わせ、会員増強活動をしましょう。ある牧師に「最大の敵は、傍観者で何にもしない人である」と言われました。全クラブ会員の一人ひとりが、会員増強の目標達成への力を出し合って、活動しなければ成果は達成できません。私は具体的な活動として、私達のパートナーであるYMCA各事業所の皆さんと一体となり、会員増強の活動をするとともに、いズ独自の地味な活動（卓話・イベント等）を行い、例会・イベントにお誘いすることが、非常に大切と考えております。

第3に国際交流の活性化です。

YMCAの事業所と（海外を含めた）情報を活発に交流し・海外のいズとのIBCを締結し交流を深める。既存献金の活用を見える化して、献金の理解を深めることが大切と考えます。

第4にユースへ取り組みの強化

ユースリーダー・OB・OGとの交流を積極的に実施する。現状YVLF等ありますが、そのフォローが出来ていない状況にあります。各クラブとユースが例会・イベント・奉仕活動等を協働で実施するなど、接点を多くすることが必要と考えます。

いズ活動の主役は各クラブです。運営が活性化されることが基本です。クラブ員間の友情と相互理解とコミュニケーションを良くしておくことが活動の原点だと思います。東日本区として全力を尽くしてまいります。関係各位様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

「未来に向けて 今すぐ行動しよう」

「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」していきましょう。

2022-2023石巻広域クラブ年間計画表

理事主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」 “Let's act now for the future”

部長主題「クラブのミッションを育てよう」

会長主題『感謝を胸に、連携し、活動を広げよう!』

月	拡大役員会 第1例会日 特プログラム	司会 受付	第一例会内容 YMCA 行事等	東日本区 強調月間 テーマ	東日本区 行 事	北東部 その他
7	8日(金) 22日(金)	清水 石川、 " "	今年度会長方針 前年度収支決算報告承認 今年度収支予算承認	キックオフ Change! 2022 PR	9区役員会 10前期半年報 (部長提出) 31区費請求書	4クラブ連絡会議 今年度スタート 23評議会
8	12日(金) 26日(金)	日野、木村純 " "	ゲストスピーカー	戦略 2032	15前期区費 26臨時代議員 会(ZOOM)	27北海道部大会
9	10日(金) 22日(木)	櫻井美、山田 " "	ゲストスピーカー	EMC	3やまなみ CN 17北東部大会 30-10/2YVLF	17北東部大会
10	9日(金) 10日(日) 20日(木) 28日(金)	石川、青木	YMCA バザー YMCA チャリティゴルフ ゲストスピーカー	ASF	8関東東部大会 8東新部大会 15あずさ部大会 23湘南沖繩大会 29富士山部大会	
11	3日(祝) 11日(金) 25日(金)	大林、阿部か " "	ペルーBF代表 ゲストスピーカー	100周年祝賀 BF	5区役員会 10ワイズデー	評議会 17北東部費納入
12	2日(金) 9日(金) 23日(金)	姉齒、川上 " "	仙台YMCAクリスマス クラブクリスマス会 拡大役員会	キリスト教理解 IBC	08祈りの輪 国際議員投票	23事務所大掃除
1	13日(金) 27日(金)	青木、櫻井美 " "		EF JEF	10半年報告	
2	10日(金) 24日(金)	田村、小笠原 " "	ゲストスピーカー 使用済み切手整理 ピンクシャツデー	TOF FF HTW	4東西日本区交流会 15後期区費・ " 各種献金納付	26北海道部大会
3	10日(金) 24日(金)	斎藤、千葉徳 " "	ゲストスピーカー	CS Green Project ワイズメネット	4-5次期クラブ 会長・部役員研 修会	
4	07日(金) 21日(金)	関川、千葉直 " "		W4W RBM	10-11役員会	
5	12日(金) 26日(金)	木村孝、千葉徳 " "	ゲストスピーカー クラブ設立記念例会	LT ユース		
6	9日(金) 23日(金)	石川、清水 " "	今年の評価と反省 次年度計画策定	YMCAサポート 歴史 振り返り	03役員会 3-4第26回東日 本区大会(甲府)	

2022-2023年度

クラブ会長 青木満里恵